

⑫ 公開特許公報(A) 平4-117988

⑤ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)4月17日

B 26 B 21/22

9029-3C

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全 14 頁)

⑭ 発明の名称 安全剃刀における刃先の露出構造

⑯ 特 願 平2-238213

⑰ 出 願 平2(1990)9月6日

⑱ 発 明 者 浅 野 多 茂 留 岐阜県関市小屋名1110番地

⑲ 発 明 者 斉 藤 達 也 岐阜県関市小屋名1110番地

⑳ 出 願 人 株式会社貝印刃物開発 センター 岐阜県関市小屋名1110番地

㉑ 代 理 人 弁理士 恩田 博宣 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

安全剃刀における刃先の露出構造

2. 特許請求の範囲

1. ガード(10, 3)に沿って刃台(2)上に一对の刃体載置面(4a, 5a)を並設するとともに、この刃台(2)上に重合するカバー(8)には両刃体載置面(4a, 5a)上に載せた両刃体(6, 7)を挟着する一对の挟着部(11, 12)を並設した二枚刃安全剃刀において、

前記ガード(10, 3)とこれに近い挟着部(11)との間及び両挟着部(11, 12)間のうち少なくとも一方の間には、刃体(6, 7)上に位置する複数の被覆部(13, 14)を間隔をあけて刃体(6, 7)の刃先(6a, 7a)に沿うように並べて架設し、各被覆部(13, 14)により刃先(6a, 7a)を覆うとともに、各被覆部(13, 14)間の刃先(6a, 7a)を露出させたことを特徴とする二枚刃安全剃刀における刃先の露出構造。

2. ガード(3)に沿って刃台(2)に刃体載置部(4)を設けるとともに、この刃台(2)上に重合するカバー(8)には刃体載置部(4)上に載せた上下両刃体(7, 6)及びそれらの間のスペーサ(20)を挟着する挟着部(12)を設けた二枚刃安全剃刀において、

前記ガード(3)とスペーサ(20)との間並びにこのスペーサ(20)と前記カバー(8)の挟着部(12)との間のうち少なくとも一方の間には、刃体(6, 7)上に位置する複数の被覆部(13, 14)を間隔をあけて刃体(6, 7)の刃先(6a, 7a)に沿うように並べて架設し、各被覆部(13, 14)により刃先(6a, 7a)を覆うとともに、各被覆部(13, 14)間の刃先(6a, 7a)を露出させたことを特徴とする二枚刃安全剃刀における刃先の露出構造。

3. ガード(24)に沿って刃台(17)に刃体載置部(18)を設けるとともに、この刃台(17)上に重合するカバー(22)には刃体載置部(18)上に載せた上下両刃体(21, 19)

及びそれらの間のスパーサ(20)を挟着する挟着部(23)を設けた二枚刃安全剃刀において、

前記ガード(24)と挟着部(23)との間には上下両刃体(21, 19)上に位置する複数の被覆部(25)を間隔をあけて上下両刃体(21, 19)の刃先(21a, 19a)に沿うように並べて架設し、各被覆部(25)により刃先(21a, 19a)を覆うとともに、各被覆部(25)間の刃先(21a, 19a)を露出させたことを特徴とする二枚刃安全剃刀における刃先の露出構造。

4. ガード(24)に沿って刃台(17)に刃体載置部(18)を設けるとともに、この刃台(17)上に重合するカバー(22)には刃体載置部(18)上に載せた刃体(19)を挟着する挟着部(23)を設けた一枚刃安全剃刀において、前記ガード(24)と挟着部(23)との間には刃体(19)上に位置する複数の被覆部(25)を間隔をあけて刃体(19)の刃先(19a)に沿うように並べて架設し、各被覆部(25)によ

り刃先(19a)を覆うとともに、各被覆部(25)間の刃先(19a)を露出させたことを特徴とする一枚刃安全剃刀における刃先の露出構造。

3. 発明の詳細な説明

発明の目的

〔産業上の利用分野〕

この発明はホルダの上端部に剃刀ヘッドを設けたT型安全剃刀において、その刃体の刃先の露出構造に関するものである。

〔従来の技術〕

従来、この種の安全剃刀としては、例えば実開昭61-132971号公報や実開昭62-134563号公報に示す形式の二枚刃安全剃刀、実開昭60-47469号公報に示す形式の二枚刃安全剃刀、実開昭57-137473号公報に示す形式の一枚刃安全剃刀等がある。

〔発明が解決しようとする課題〕

これらの安全剃刀においては、いずれも刃体の刃先の全体が露出しているため、使用時の安全性に欠けるおそれがあった。そこで、例えば実開昭

60-126175号公報に示すように刃体にガード線材を巻いたり、このガード線材に代えて合成樹脂帯を付着したりして、刃先の一部を被覆することも行われているが、刃体にこのような処理を施すことは大変面倒であった。

本発明は刃体の被覆手段としてより簡単な構造を提供することを目的としている。

発明の構成

〔課題を解決するための手段〕

この目的に鑑み本発明は、後記する第1実施例の図面(第1図から第3図)及び第2実施例の図面(第4図から第6図)に示す形式の二枚刃安全剃刀に具体化している。この二枚刃安全剃刀においては、ガード10, 3に沿って刃台2上に一對の刃体載置面4a, 5aが並設されているとともに、この刃台2上に重合するカバー8には両刃体載置面4a, 5a上に載せた両刃体6, 7を挟着する一對の挟着部11, 12が並設されている。特に、前記ガード10, 3とこれに近い挟着部11との間及び両挟着部11, 12間のうち少なく

とも一方の間には、刃体6, 7上に位置する複数の被覆部13, 14が間隔をあけて刃体6, 7の刃先6a, 7aに沿うように並べて架設され、各被覆部13, 14により刃先6a, 7aが覆われるとともに、各被覆部13, 14間の刃先6a, 7aが露出している。

又、本発明は、後記する第3実施例の図面(第7図から第9図)に示す形式の二枚刃安全剃刀に具体化している。この二枚刃安全剃刀においては、ガード3に沿って刃台2に刃体載置部4が設けられているとともに、この刃台2上に重合するカバー8には刃体載置部4上に載せた上下両刃体7, 6及びそれらの間のスパーサ20を挟着する挟着部12が設けられている。特に、前記ガード3とスパーサ20との間並びにこのスパーサ20と前記カバー8の挟着部12との間のうち少なくとも一方の間には、刃体6, 7上に位置する複数の被覆部13, 14が間隔をあけて刃体6, 7の刃先6a, 7aに沿うように並べて架設され、各被覆部13, 14により刃先6a, 7aが覆われると

ともに、各被覆部 13, 14 間の刃先 6a, 7a が露出している。

又、本発明は、後記する第 4 実施例の図面（第 10 図）に示す形式の二枚刃安全剃刀に具体化している。この二枚刃安全剃刀においては、ガード 24 に沿って刃台 17 に刃体載置部 18 が設けられているとともに、この刃台 17 上に重合するカバー 22 には刃体載置部 18 上に載せた上下両刃体 21, 19 及びそれらの間のスペーサ 20 を挟着する挟着部 23 が設けられている。特に、前記ガード 24 と挟着部 23 との間には上下両刃体 21, 19 上に位置する複数の被覆部 25 が間隔をあけて上下両刃体 21, 19 の刃先 21a, 19a に沿うように並べて架設され、各被覆部 25 により刃先 21a, 19a が覆われるとともに、各被覆部 25 間の刃先 21a, 19a が露出している。

さらに、本発明は、後記する第 5 実施例の図面（第 11 図）に示す形式の一枚刃安全剃刀に具体化している。この一枚刃安全剃刀においては、ガ

ード 24 に沿って刃台 17 に刃体載置部 18 が設けられているとともに、この刃台 17 上に重合するカバー 22 には刃体載置部 18 上に載せた刃体 19 を挟着する挟着部 23 が設けられている。特に、前記ガード 24 と挟着部 23 との間には刃体 19 上に位置する複数の被覆部 25 が間隔をあけて刃体 19 の刃先 19a に沿うように並べて架設され、各被覆部 25 により刃先 19a が覆われるとともに、各被覆部 25 間の刃先 19a が露出している。

〔作用〕

前述した各種形式の安全剃刀においては、使用時にカバー 8, 22 を顔に当てがうと、刃体 6, 7, 19, 21 の刃先 6a, 7a, 19a, 21a が肌に接触するとともに、各被覆部 13, 14, 25 も肌に接触し、各被覆部 13, 14, 25 の範囲 Q 及びその付近では肌に対する刃先 6a, 7a, 19a, 21a の入り込みがそれ以外の範囲に比較して緩和され、剃り味が柔らかくなる。

〔第 1 実施例〕

7

まず、本発明の第 1 実施例にかかる二枚刃安全剃刀を第 1 図から第 3 図に従って説明する。

ホルダ 1 の上端部には刃台 2 が同ホルダ 1 に対し T 状をなすように左右方向へ延設されている。この刃台 2 の前側縁にはガード 3 が左右方向へ延びるように形成されているとともに、このガード 3 の後方で刃台 2 には前後一对の刃体載置部 4, 5 がガード 3 に沿って形成されている。前後両刃体載置部 4, 5 上には刃体載置面 4a, 5a が形成され、この両刃体載置面 4a, 5a 上に前後一对の刃体 6, 7 が載せられている。

カバー 8 は左右両側枠部 9 と、この両側枠部 9 の前端部間に架設されたガード 10 と、このガード 10 の後方で両側枠部 9 間にガード 10 に沿って架設された前後一对の挟着部 11, 12 とからなり、このガード 10 の下側及び両挟着部 11, 12 の下側にはそれぞれ複数の係止軸 10a, 11a, 12a が下方へ互いに平行に突設されて左右方向へ並設されている。このカバー 8 は刃台 2 上に重合され、刃台 2 のガード 3 上にカバー 8 の

8

ガード 10 が載せられて同ガード 10 の係止軸 10a により両ガード 3, 10 が互いに連結されているとともに、前後両刃体 6, 7 上にカバー 8 の前後両挟着部 11, 12 が載せられて前後両挟着部 11, 12 の係止軸 11a, 12a により前後両刃体 6, 7 が刃台 2 の前後両刃体載置部 4, 5 とカバー 8 の前後両挟着部 11, 12 との間で挟着されている。そして、カバー 8 のガード 10 上と前後両挟着部 11, 12 上とを結びひげ剃り接線面 P は平面状をなし、カバー 8 の各係止軸 11a, 12a の軸心に対し直交している。各係止軸 11a, 12a の軸心に対し前後両刃体載置部 4, 5 の刃体載置面 4a, 5a は前方へ向かうに従い上方へ傾斜する斜状をなし、この両刃体載置面 4a, 5a 上に載せられた前後両刃体 6, 7 も同様に斜状をなしてその刃先 6a, 7a は前記ひげ剃り接線面 P に位置する。

特に、前記カバー 8 の前後両挟着部 11, 12 には前後両刃体 6, 7 上に重合する複数の凸状被覆部 13, 14 が間隔をあけて刃先 6a, 7a に

9

10

沿うように並設されている。前側の各被覆部 13 はガード 10 と前側の挟着部 11 との間に架設されているとともに、後側の各被覆部 14 は前後両挟着部 11、12 間に架設され、前記ひげ剃り接線面 P よりも上方へ突出している。前後両刃体 6、7 の刃先 6a、7a は各被覆部 13、14 間でのみ露出している。

又、前後両挟着部 11、12 のうち、後側の挟着部 12 の各被覆部 14 間にある刃先 7a の露出範囲 R 内で、前側の挟着部 11 の各被覆部 13 が同刃先 7a に対応して設けられているとともに、前側の挟着部 11 の各被覆部 13 間にある刃先 6a の露出範囲 R 内で、後側の挟着部 12 の各被覆部 14 が同刃先 6a に対応して設けられている。

なお、各被覆部 13、14 の下方において刃台 2 のガード 3 と前側の刃体載置部 4 と後側の刃体載置部 5 とが互いに連結され、ガード 3 と前側の刃体載置部 4 との間及び前後両刃体載置部 4、5 間にはそれぞれ各被覆部 13、14 間で露出する刃先 6a、7a に対応してひげかす排除孔 15 が

並設されている。

さて、使用時にカバー 8 を顔に当てがうと、前後両刃体 6、7 の刃先 6a、7a が肌に接触するとともに、前後両挟着部 11、12 の被覆部 13、14 も肌に接触し、前後両被覆部 13、14 の範囲 Q 内及びその付近では肌に対する刃先 6a、7a の入り込みがそれ以外の範囲に比較して緩和され、剃り味が柔らかくなって安全性が向上する。

このようにガード 10 と前側の挟着部 11 と後側の挟着部 12 との間に前側の各被覆部 13 と後側の各被覆部 14 とが架設されているので、従来技術で示した場合と比較して、大変簡単な構造により前後両刃体 6、7 の刃先 6a、7a の一部を被覆することができ、安全性が向上するとともに、各被覆部 13、14 が強固に支持される。

又、各被覆部 13、14 間にある前後両刃体 6、7 の刃先 6a、7a の露出範囲 R に対応して被覆部 13、14 があるため、剃り味を維持する上で同刃先 6a、7a の露出範囲 R をある程度広くしても、被覆部 13、14 の作用により剃り味が柔

1 1

らかくなって安全性がより一層向上する。

〔第 2 実施例〕

次に、本発明の第 2 実施例にかかる二枚刃安全剃刀を前記第 1 実施例との相違点を中心に第 4 図から第 6 図に従って説明する。

刃台 2 の前後両刃体載置部 4、5 は上下二段に形成されている。カバー 8 は左右両側枠部 9 と、この両側枠部 9 の後端部間に架設された後側の挟着部 12 と、それらとは分離して形成された前側の挟着部 11 とからなり、この両挟着部 11、12 の下側にはそれぞれ複数の係止軸 11a、12a が下方へ互いに平行に突設されて左右方向へ並設されている。このカバー 8 は刃台 2 上に重合され、前後両刃体 6、7 上にカバー 8 の前後両挟着部 11、12 が載せられて前後両挟着部 11、12 の係止軸 11a、12a により前後両刃体 6、7 が刃台 2 の前後両刃体載置部 4、5 とカバー 8 の前後両挟着部 11、12 との間で挟着されている。前側の挟着部 11 は両刃体 6、7 間のスペースとしての機能も果たしている。そして、刃台 2

1 2

のガード 3 上と前後両挟着部 11、12 上とを結びひげ剃り接線面 P は平面状をなし、カバー 8 の各係止軸 11a、12a の軸心に対し傾斜している。この各係止軸 11a、12a の軸心に対し前後両刃体載置部 4、5 の刃体載置面 4a、5a は直交し、この両刃体載置面 4a、5a 上に載せられた前後両刃体 6、7 も同様に直交してその刃先 6a、7a は前記ひげ剃り接線面 P に位置する。

特に、前記カバー 8 の前後両挟着部 11、12 には前後両刃体 6、7 上に重合する複数の凸状被覆部 13、14 が間隔をあけて刃先 6a、7a に沿うように並設されている。前側の各被覆部 13 は刃台 2 のガード 3 と前側の挟着部 11 との間に架設されているとともに、後側の各被覆部 14 は前後両挟着部 11、12 間に架設され、前記ひげ剃り接線面 P よりも上方へ突出している。前後両刃体 6、7 の刃先 6a、7a は各被覆部 13、14 間でのみ露出している。

なお、前側の挟着部 11 には前後両刃体載置部 4、5 間にある各ひげかす排除孔 15 に連通する

1 3

1 4

ひげかす排除孔 16 が形成されている。

〔第 3 実施例〕

次に、本発明の第 3 実施例にかかる二枚刃安全剃刀を前記第 2 実施例との相違点を中心に第 7 図から第 9 図に従って説明する。

この第 3 実施例では、第 2 実施例における前側の挟着部 11 と後側の刃体載置部 5 とが一体形成されて両刃体 6, 7 間でスペース 20 となっている。すなわち、刃台 2 の刃体載置部 4 上に下刃体 6 とスペース 20 と上刃体 7 とカバー 8 の挟着部 12 とが順次載せられ、上下両刃体 7, 6 及びそれらの間のスペース 20 がスペース 20 の係止軸 20a 及び挟着部 12 の係止軸 12a により刃体載置部 4 と挟着部 12 との間で挟着されている。刃台 2 の前端縁にはガード 3 が下刃体 6 の刃先 6a に沿って形成されている。このガード 3 上とカバー 8 の挟着部 12 上とを結ぶひげ剃り接戦面 P は上下両刃体 7, 6 の刃先 7a, 6a 上に位置している。

特に、ガード 3 とスペース 20 との間並びにこ

のスペース 20 と前記カバー 8 の挟着部 12 との間には、上下両刃体 6, 7 上に重合する複数の凸状被覆部 13, 14 が間隔をあけて刃先 6a, 7a に沿うように並設されている。前側の各被覆部 13 は刃台 2 のガード 3 とスペース 20 との間に架設されているとともに、後側の各被覆部 14 はスペース 20 と挟着部 12 との間に架設され、前記ひげ剃り接戦面 P よりも上方へ突出している。上下両刃体 6, 7 の刃先 6a, 7a は各被覆部 13, 14 間でのみ露出している。

なお、スペース 20 にはひげかす排除孔 16 が形成されている。

〔第 4 実施例〕

第 10 図に示すように第 4 実施例にかかる二枚刃安全剃刀においては、刃台 17 の刃体載置部 18 上に下刃体 19 とスペース 20 と上刃体 21 とカバー 22 の挟着部 23 とが順次載せられ、上下両刃体 21, 19 及びそれらの間のスペース 20 が刃体載置部 18 と挟着部 23 との間で挟着されている。刃台 17 の前側縁にはガード 24 が下刃

15

体 19 の刃先 19a に沿って形成されている。このガード 24 上とカバー 22 の挟着部 23 上とを結ぶひげ剃り接戦面 P は上下両刃体 21, 19 の刃先 21a, 19a 上に位置している。

特に、前記カバー 22 の挟着部 23 には上下両刃体 21, 19 上に重合する複数の凸状被覆部 25 が間隔をあけて刃先 21a, 19a に沿うように並設され、この各被覆部 25 はガード 24 と挟着部 23 との間に架設されて前記ひげ剃り接戦面 P よりも上方へ突出している。上下両刃体 21, 19 の刃先 21a, 19a は各被覆部 25 間でのみ露出している。

なお、各被覆部 25 の下方において刃体載置部 18 とガード 24 とが互いに連結され、この刃体載置部 18 とガード 24 との間には各被覆部 25 間で露出する刃先 21a, 19a に対応してひげかす排除孔 26 が並設されている。

そして、使用時にカバー 22 を顔に当てがうと、上下両刃体 21, 19 の刃先 21a, 19a が肌に接触するとともに、挟着部 23 の各被覆部 25

16

も肌に接触し、各被覆部 25 の範囲 Q 内及びその付近では肌に対する刃先 21a, 19a の入り込みがそれ以外の範囲に比較して緩和され、剃り味が柔らかくなって安全性が向上する。

この第 4 実施例においても、挟着部 23 とガード 24 との間に各被覆部 25 が架設されているので、この被覆部 25 により刃先 21a, 19a の一部を大変簡単な構造で被覆でき、安全性が向上するとともに、各被覆部 25 が強固に支持される。

〔第 5 実施例〕

第 11 図に示す第 5 実施例の一枚刃安全剃刀においては、前記第 4 実施例におけるスペース 20 及び上刃体 21 がなく、刃体 19 のみが刃体載置部 18 と挟着部 23 との間で挟着されている。それ以外の構造は前記第 4 実施例の場合と同様である。

発明の効果

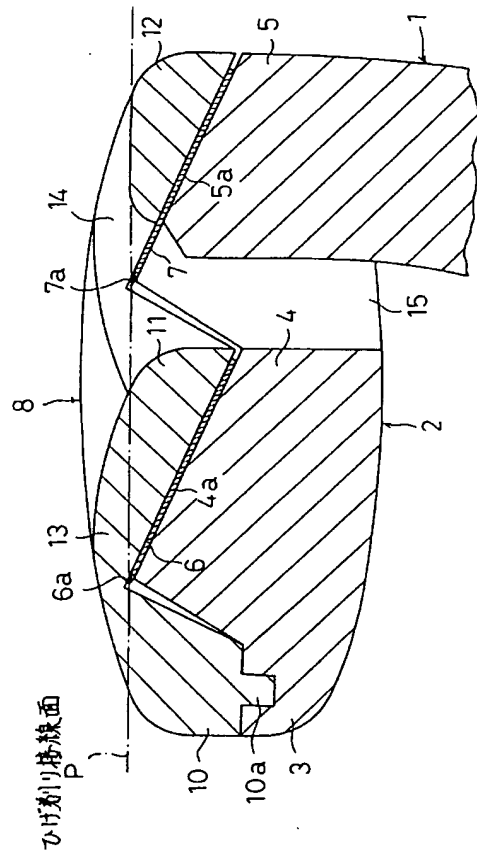
本発明にかかる各種形式の安全剃刀によれば、各被覆部 13, 14, 25 が架設されているので、従来技術で示した場合と比較して、大変簡単な構

17

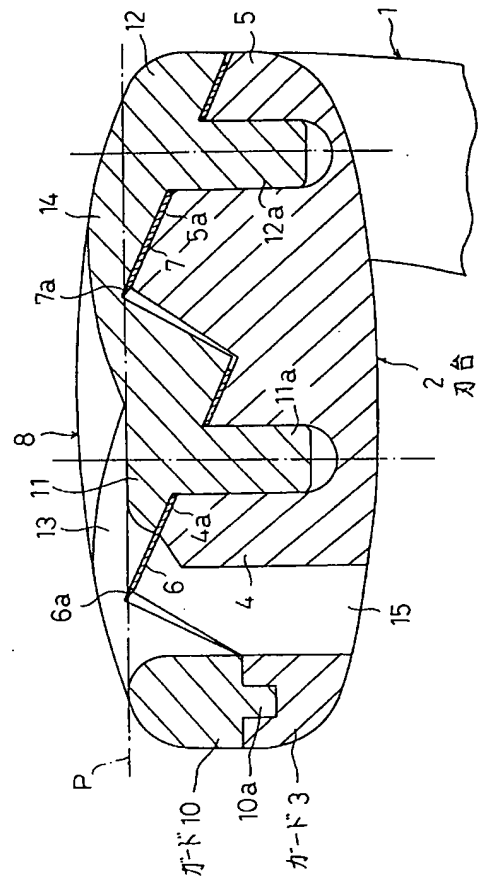
18

THIS PAGE BLANK (USPTO)

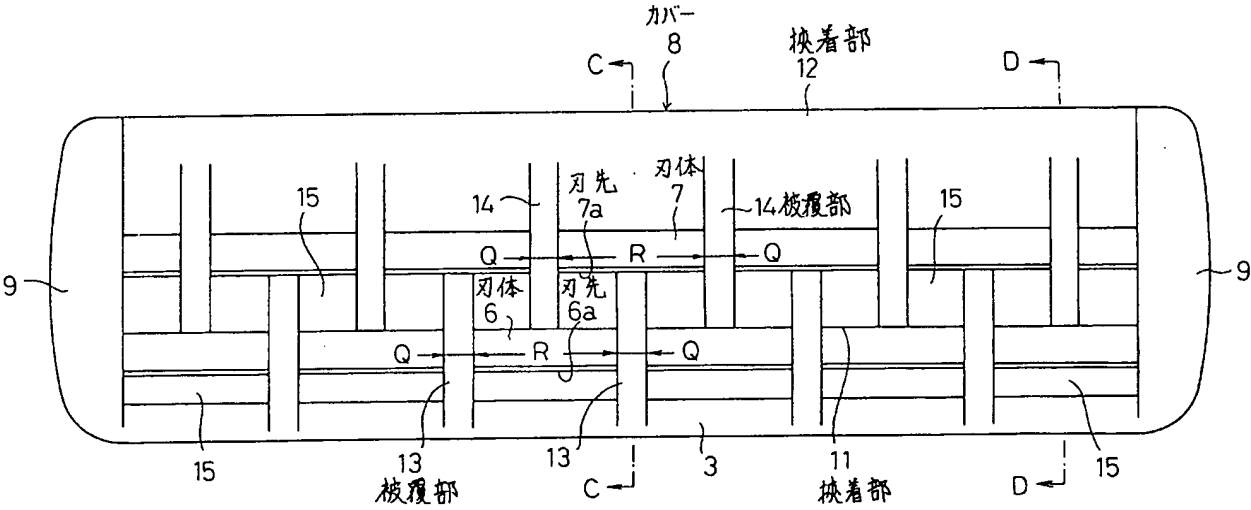
第 2 図



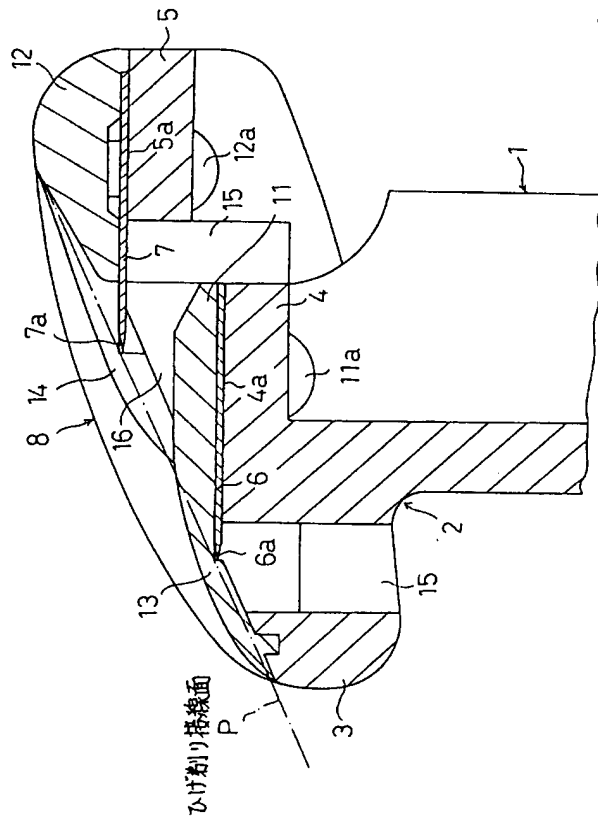
第 3 図



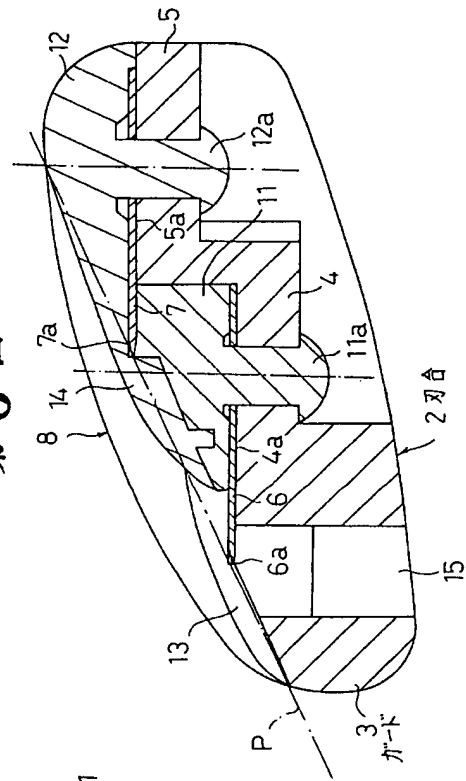
第 4 図



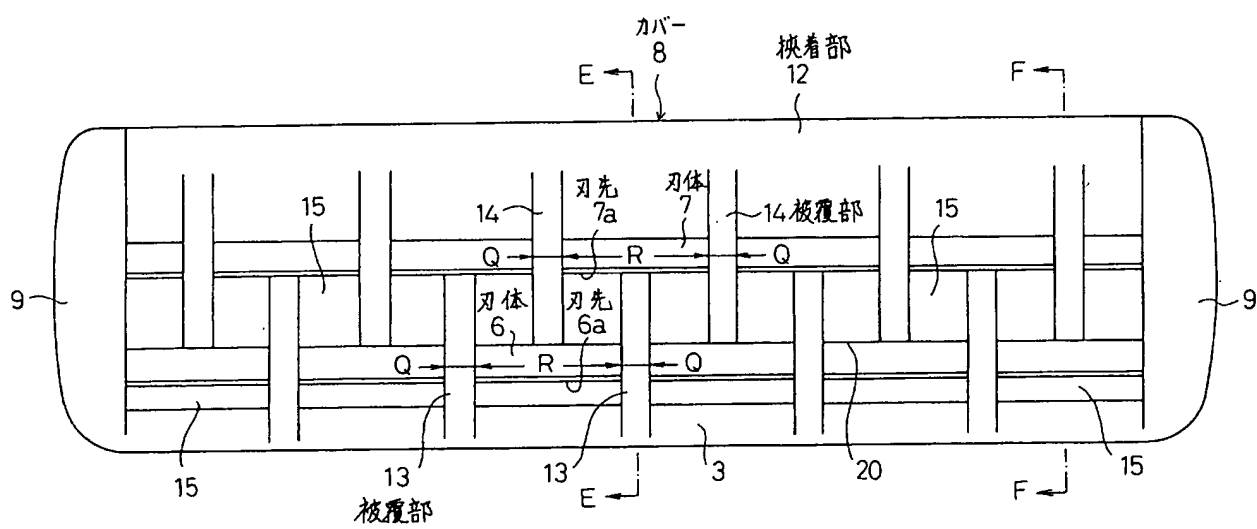
策五



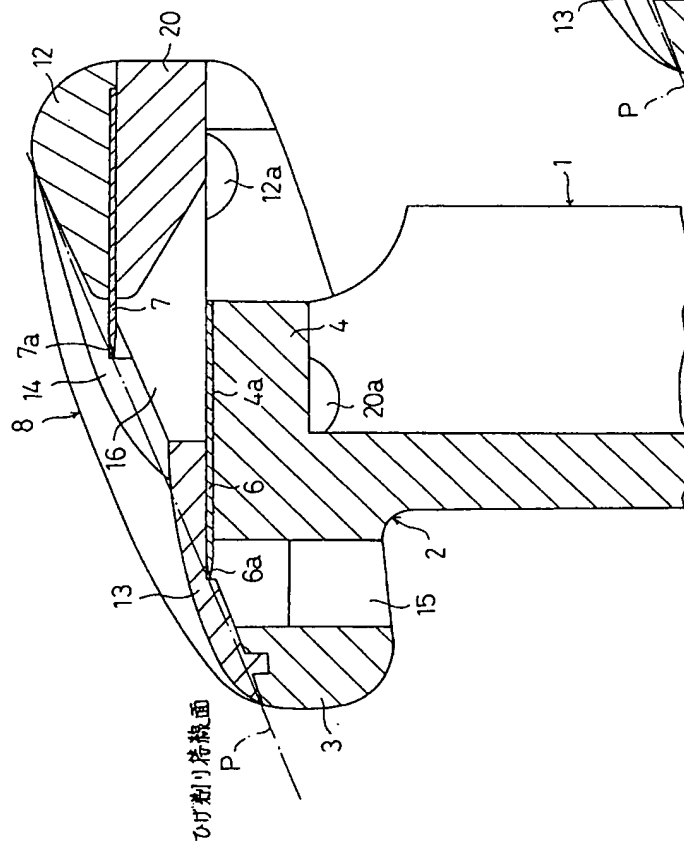
六 煉



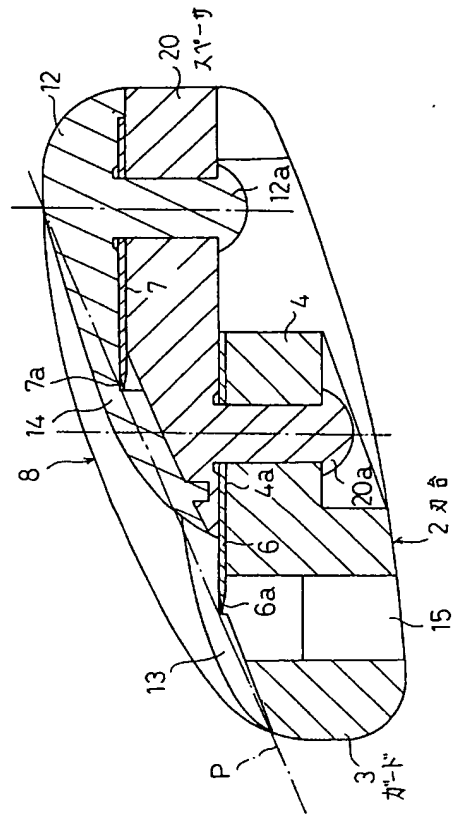
第 7 図



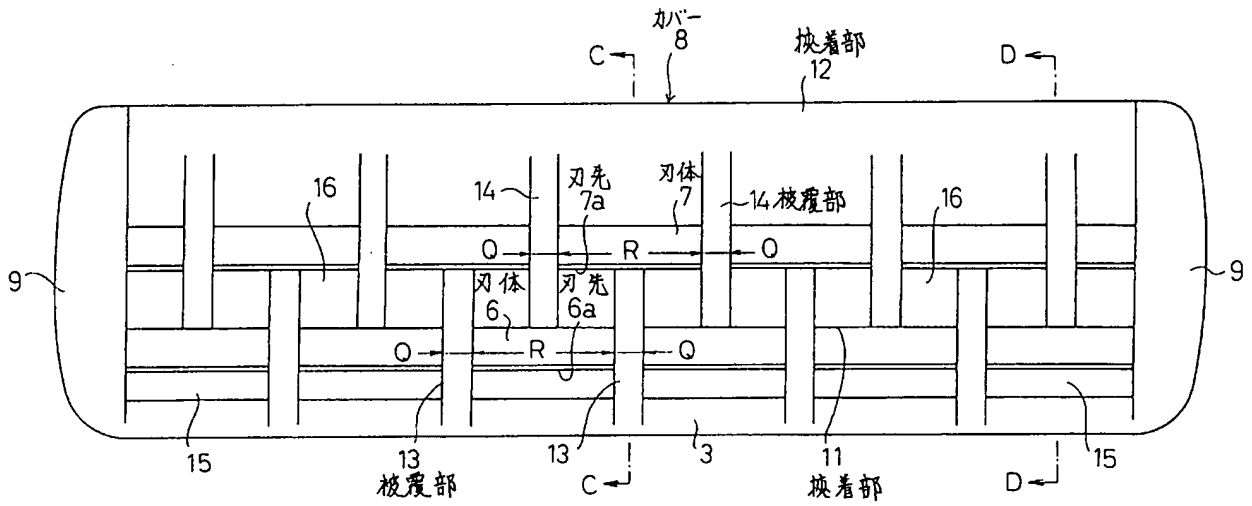
第 8 図



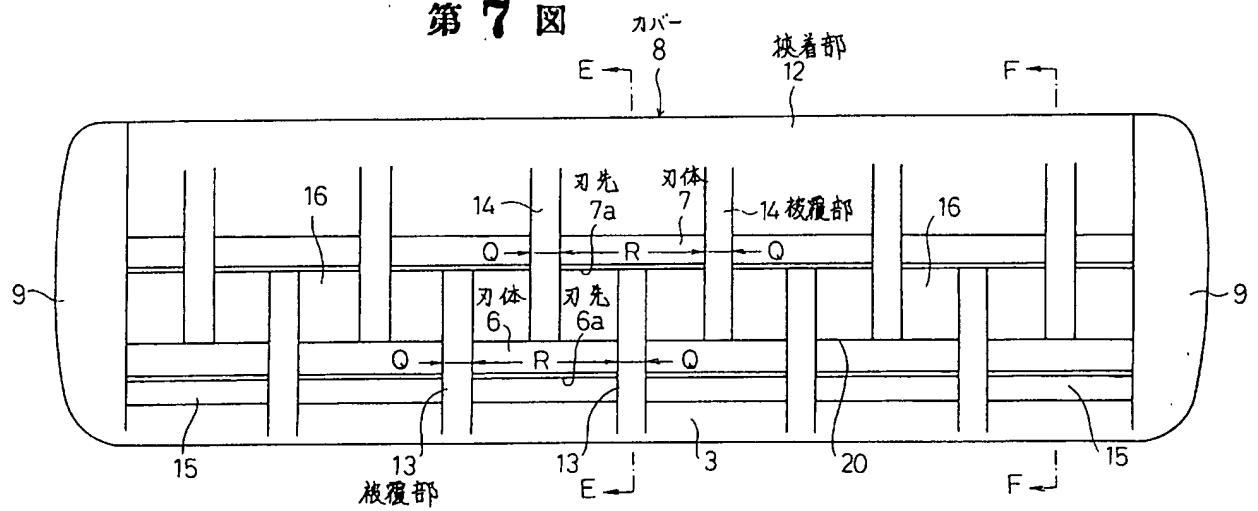
第 9 図



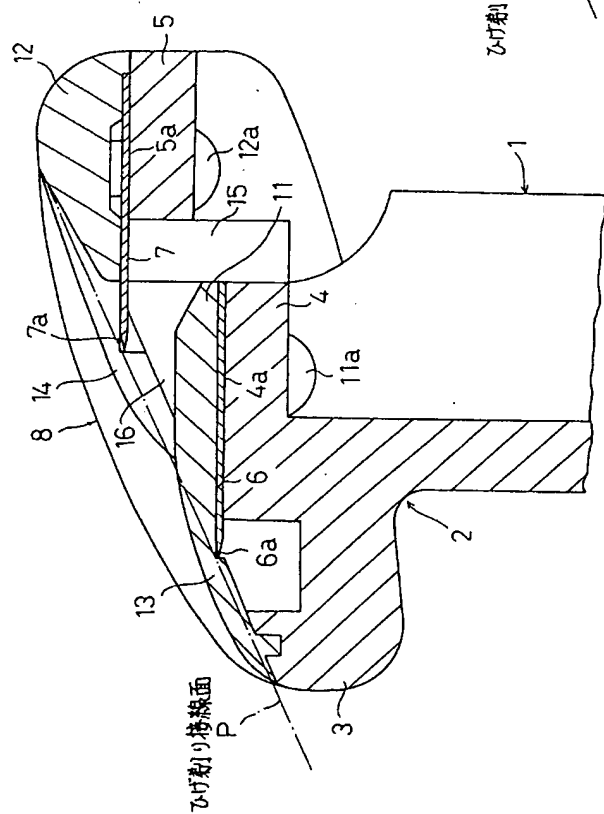
第 4 図



第 7 圖



五集



區
○
無

